

令和6年度用「Vision Quest 論理と表現 II Ace WORKBOOK」の内容につきまして、以下のように訂正いたします。  
ご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

### 本体

訂正箇所		原 文	訂 正文
頁	問		
12	B 参	参 句と節のまとめ 1-3	参 <u>F 016</u> , 句と節のまとめ 1-3
56	177	私たちは <u>情報化時代と呼ばれる時代</u> に生きています。	私たちは <u>いわゆる情報化時代</u> に生きています。
72	220-b	Take <b>as many as</b> you like.	Take <u>as many as</u> you like.
104		As everyone knows	As everyone knows <u>,</u>
105		However / <u>Although</u> ,	However,

### 解答編

訂正箇所		原 文	訂 正文
頁	問		
8	2-1 解説	〈It is ... <u>that S' + V'</u> 〉「 <u>S'が V'するの</u> は…だ」を使う。真主語は <u>that</u> 節である。	〈It is ... <u>for A to do</u> 〉「 <u>Aがするの</u> は…だ」を使う。真主語は <u>to</u> 不定詞である。
8	3-5	Her story <u>brought</u> tears to my eyes.	Her story <u>brought</u> [ <u>brings</u> ] tears to my eyes.
8	3-5 解説	「彼女の話聞いて涙が出た。」	「彼女の話聞いて涙が出た <u>[出る]</u> 。」
8	3-5 解説	=Her story <u>made</u> me cry.	=Her story <u>made</u> [ <u>makes</u> ] me cry.
21	3 解説	これらの副詞は原則として「be 動詞の <u>前</u> 、それ以外の一般動詞の <u>後</u> 」に置く。	これらの副詞は原則として「be 動詞の <u>後</u> 、それ以外の一般動詞の <u>前</u> 」に置く。
29	3	I <u>always have to</u> [ <u>must</u> ] prepare for the next class.	I <u>always have to</u> [ <u>must always</u> ] prepare for the next class.
54	172 解説	S…すべきだと提案する	<u>S</u> は…すべきだと提案する
54	177	私たちは <u>情報化時代と呼ばれる時代</u> に生きています。	私たちは <u>いわゆる情報化時代</u> に生きています。